

日本農芸化学会では、その活動や研究内容を広く一般の市民、高校生に知っていただくため、農芸化学「化学と生物」シンポジウムを毎年開催しております。

今年度は、大会の岡山開催に合わせて、学会を代表する先生方をお招きいたします。

ご自身の研究内容から最も興奮した（わくわくした）ご発見を中心に、農芸化学の面白さや楽しさを、わかりやすくお話いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

第41回農芸化学「化学と生物」シンポジウム

「生き物の仕組みを化学する楽しさ」

日時

2015年3月26日(木)

16時-18時

場所

ホテルグランヴィア岡山 3階 クリスタル

(収容人員：定員 300名)

岡山市北区駅元町1番5 TEL. 086-234-7000

会費

無料

「微生物の多様性と生きざまを考える」

正木春彦 (東京大学農学生命科学研究科教授)

「あなたの健康にかかわる植物ミネラル輸送」

馬 建鋒 (岡山大学資源植物科学研究所教授)

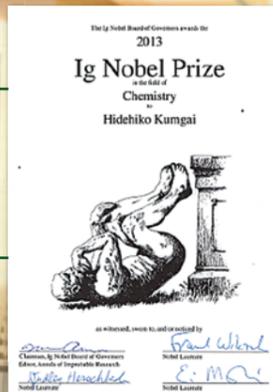


「イグノーベル賞へつながった催涙成分合成酵素の発見まで」

熊谷英彦 (石川県立大学学長、元日本農芸化学会会長)

「化学で解き明かされる生物間の交信」

森 謙治 (東京大学名誉教授、元日本農芸化学会会長)



主催：日本農芸化学会

お問い合わせ先

川向 誠 (島根大学) kawamuka@life.shimane-u.ac.jp

清田洋正 (岡山大学) kiyota@okayama-u.ac.jp